

FK8 CTR Fuel



Revision date 6 May 2020



キット内容

- ・ソフトウェアアクティベーションカード
- ・燃料タンク内パーツ
 - ・HONDAタンク内低圧ポンプ
 - ・変換ハーネス
 - ・Oリング
 - ・潤滑剤 一本
 - ・フィルター
 - ・精密ドライバー
- ・エンジンルーム内パーツ
 - ・Hondata高圧燃料ポンプ、専用ボルト10mm×2本
 - ・Hondata直噴高圧燃料ポンプ用ハーネス
 - ・Hondata低圧燃料配管。バンジョーボルトとワッシャー×2個
 - ・Hondata高圧燃料配管
 - ・Hondata直噴インジェクター用ハーネス
 - ・ハイフローインジェクター×4個

必要工具

- ・ホンダ純正SST 07AAA-TBAA100 fuel sender lock tool. 燃料ポンプ取り外し用専用工具
- ・5mm六角レンチ
- ・スパナ14、19mm
- ・ソケット10、12、14mm
- ・マイナスドライバー
- ・銅ハンマーもしくはプラスチックハンマー
- ・マジック
- ・ブレーキクリーナー
- ・**消火器**
- ・工場エアー

概観

インストールは経験豊富なショップにご依頼ください。
タンク内の純正低圧燃料ポンプを取り外し、Hondata低圧燃料ポンプを取り付けます。
インテークマニホールド、フェューエルレール、インジェクターを取り外します
新しいインジェクターを取り付けます。 燃料レールを再取り付けする
Hondata高圧燃料ラインを設置する
Hondata低圧燃料ラインをHondata ポンプに接続する
Hondataポンプと低圧ラインを取り付ける
FlashPro ManagerでHondata 燃料ポンプドライバーソフトウェアをインストールする

重要事項

このシステムのすべての部品は常に汚れないように、作業してください。常に、きれいな環境で作業を行ってください。ほんのわずかな埃でも、ポンプやインジェクターに損傷を与える場合があります。わずかな埃や、汚れはガソリン漏れを引き起こすことがあるので、組付け時全ての表面をきれいにしてください。

- ・工具や手を清潔にしてください
- ・HFSのすべての部品を丁寧に取り扱ってください。汚れた床などに置かないでください。装着までは全てのポートにキャップをしてください
- ・分解前はその周辺をエアブローし、パーツクリーナーなどで掃除してください

- 汚れが原因による、損傷は保証対象外です

低圧燃料ポンプ取り付け

低圧燃料ポンプの取り付けの詳細については、ホンダサービスマニュアルを参照してください。

もし、タンク内の燃料が90%以上であれば、ガソリンがもれますので、フロントを345ミリ以上ジャッキーアップしてください。

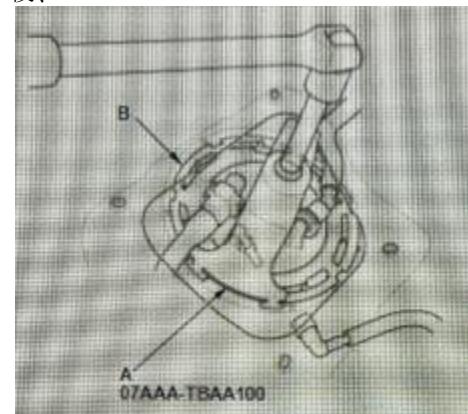
燃圧の除去

燃料ポンプのコネクターを取り外す。エンジンを始動させ、ストールするまでかける。その後、4秒ぐらいクランキングしてください。消火器を用意してください。

Fuelポンプケージ取り外し

工場エアーで、燃料ポンプ周辺をしっかりと掃除してください。
専用工具を使用し、リングを外してください。取り外し時、AとBの位置をメモしてください。

ベントホースを横で縛っておいてください。万が一、ベントホースに燃料が入った場合、DTCが付く可能性があります。



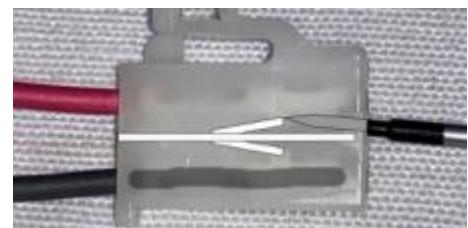
純正ポンプの取り外し

- 燃料計と燃料ポンプの配線を取り外す
- 燃料ポンプホルダーの爪を緩める。
- センターケージを外す。
- 燃料フィルタークリップを外し、フィルターを外す。
- 純正燃料ポンプを取り外す



燃料ポンプ配線

- 黒い配線のピン配列をマーキングする
- 精密マイナスドライバーを使って、燃料ポンプカプラーのナイロンストッパーを外す。
- 付属の燃料ポンプハーネスに付け替える。
- 付属の燃料ポンプに配線する。
- 白いカプラーをフューエルケージにセットする時、赤と黒の配線を押し込んで、接続してください。



O-Rings

- 付属の燃料ポンプに、純正燃料ポンプからナイロンスペーサーを移植して、さらに二つのOリングを取り付ける。
- スペーサーとOリングが固着している場合、マイナスドライバーなどで取り外してください。
- リングにはシリコングリースなどを塗布してください。



低圧燃料ポンプの取り付け

- フューエルフィルターを取り付ける。クリップは必要ありません。
- 低圧ポンプをインナーケージに取り付ける。
- フィルタをポンプケージの底に押し付ける。



センタークージーの取り付け

- センタークージーを取り付ける。フューエルフィルターは正しい角度に曲がります。
- 取り付けが固い場合、左側のクリップを写真のようにマイナスドライバーなどで、押し込んで下さい。
- 配線をつなぎ直す。
- 燃料ポンプの配線を手で抑えて、ナイロンクリップを差し込んで、接続させる。
- フューエルケージを車に取り付ける。
- ロックリングを規定位置まで取り付ける。



インジェクター取り付け

インジェクターの取り付けの詳細については、ホンダサービスマニュアルを参照してください。

バッテリーとトレーを外す。エンジンカバーを取り外す。フューエルポンプや配管の廻りをエアブローして、さらにブレーキクリーナーでしっかり綺麗にする。低圧配管の周辺をウェスなどで覆い、接続を外す。燃料が流れ出るので、高圧配管の周りをウェスなどで覆う。緩めて、外して、漏れたガソリンをウェスなどで拭き取る。

*** 注意 ***

直噴システム200バルル以上の燃圧が掛かっている。燃圧は抜いていたとしても、高圧のガソリン残っている場合があります。

各部に損傷を起こすことがあるので、以下に注意して作業してください。高圧燃料配管の取り外しは、ナットを徐々に回し、燃料をふき取って下さい。半回転ずつナットを緩めて、ポンプを取り外してください。表面をきれいに掃除し、穴をウェスなどでふさいでください。

インマニ取り外し



Intake Manifold

コモンレール
燃圧センサー カバーを外す。



Fuel pressure sensor cover bracket

黄色いロックを外し、カプラーを取り外す。



Fuel rail



Fuel Injectors

インジェクターを付属のものに交換する。カーボンの堆積により、外すのが難しいことがあります。インジェクターのクリップは再利用します。コモンレールと付属の高圧配管を仮付けしておく。

高圧ポンプ取り付け

高压燃料ポンプの取り付けの詳細については、ホンダサービスマニュアルを参照してください。

付属の高圧ポンプに付属の低圧配管をバンジョーボルトで取り付ける。ワッシャはどちら側につけても良いです。ポンプを仮組する。付属の高圧配管を指で締め付ける。付属のポンプをボルトで取り付ける。取り付けの際は、ボルトを半回転づつ締めて、M8キャップボルトのトルクは14NMで締め付ける。高圧配管のフレアナットを締め付ける。インテークを取り付ける。車体側燃料配管を取り付ける。

高压ポンプと車体側ハーネス間に付属のサブハーネスを取り付ける。



Loosely position the DI pump



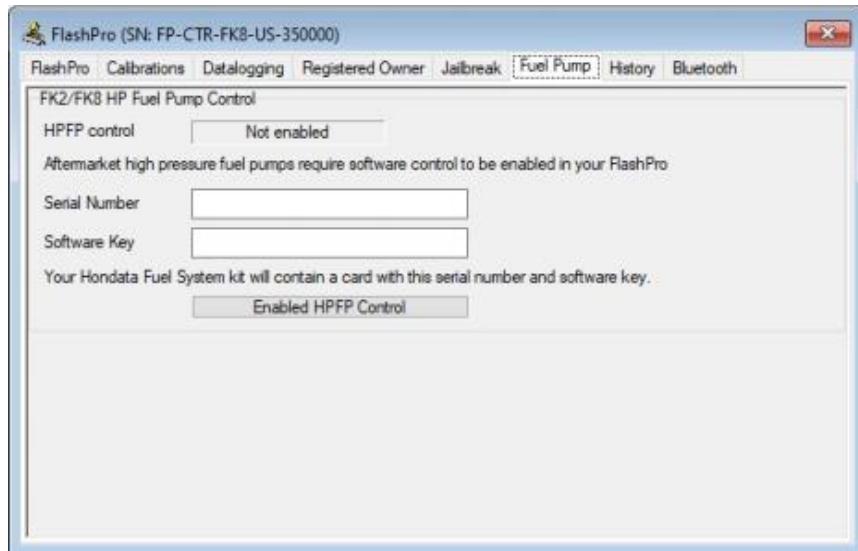
Connect the Hondata high pressure

全ての部品を取り付けて、イグニッションON二回。エンジンスタートして、アイドリングで燃料漏れを確認する。

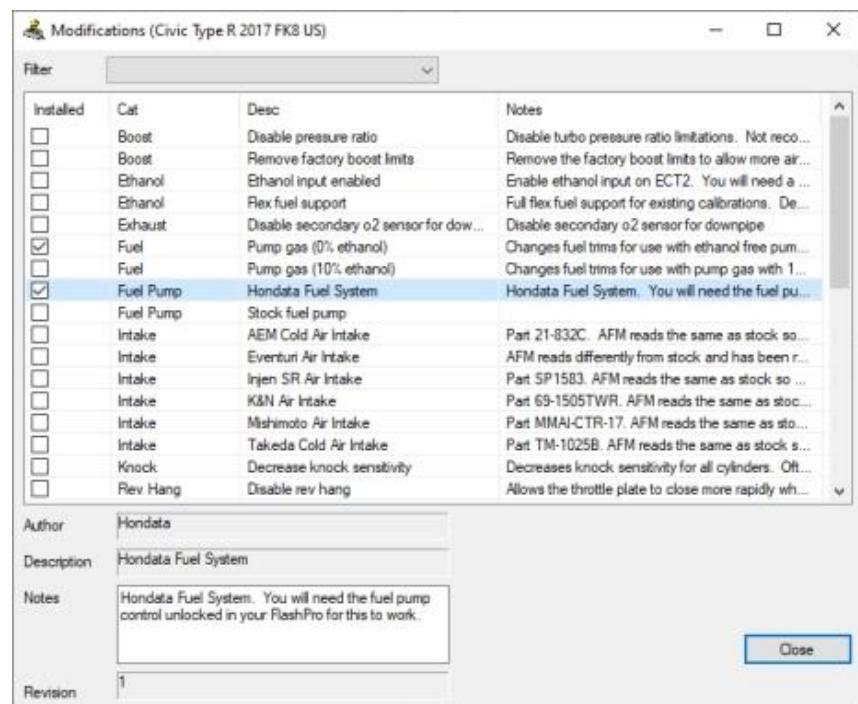
ソフトウェアインストール

走行する前にHPFP解除コードでFlashProを更新する必要があります。

- FlashProManagerを最新のバージョンにアップデートしてください。
- FLASHPROを接続したまま、Flashpro ウィンドーを開く。
- 【Fuel Pump】タブを選択。
- 付属のアクティベーションカードのシリアルナンバーとキーを入力します。
- アンロックコードはFlashProに保存されます。



下記の Modifications ウィンドーで「Hondata Fuel System」にチェックを入れます。



ソフトウェア構成

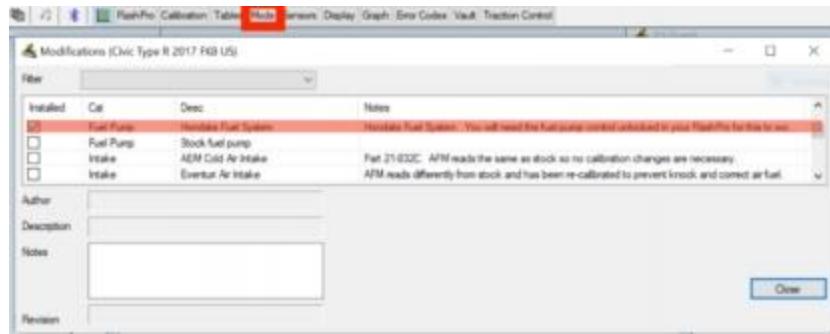
装着されたHPFPは、更新されたHPFPの設定を含むキャリブレーションをアップロードしないと実行されません。 同様に、純正ポンプは、Hondata Fuel System用に設定されたキャリブレーションでは動作しません。

Hondata Fuel Systemは、キャリブレーションの実行方法を変更しません。 燃料ポンプとインジェクターの設定のみが変更されます。 キャリブレーションを再調整する必要はありません。

装着後、2種類の方法でECUのセッティングを行います。

- 今使っているキャリブレーションを使用する場合、MODIFICATIONのHFSにチェックを入れて、OverallFuelTrimを-20%にする。
(注意) Aircharge limit&Torque limitテーブルを増加させないと、パワーゲインが出来ないことがありますので必要に応じて調整してください。

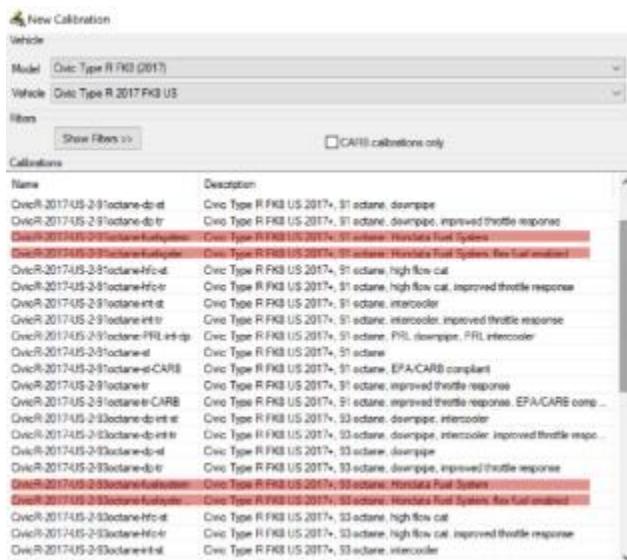
詳細はこちらをご参照ください。 <https://www.hondata.com/tech-tuning-the-k20c-fk8-civic-type-r>



- HFSに対応した新しいキャリブレーションを使用する。

Supplied starting fuel system base calibrations

- 91 octane with bolt-ons Hondata fuel system
- 93 octane with bolt-ons Hondata fuel system
- 91 octane with Flex Fuel, bolt-ons Hondata fuel system
- 93 octane with Flex Fuel, bolt-ons Hondata fuel system



これらのキャリブレーションはブースト圧が高くなっています。ダイノチャートはホームページをご覧ください。使用環境に応じて、4種類のキャリブレーションから選択して下さい。現車セットアップを行う場合は、これらのデータをベースにセットアップを行えます。

キャリブレーションアップロード後、エンジンを始動し、アイドリングさせる。配管など各部からのガソリン漏れをチェックする。Short Trimが0%から動くまで、車を軽い負荷で約3分（およそ2キロ）走行させる。

取り外す場合

Hondata Fuel Systemを取り外す場合、必ずHFSOFFのカリブレーションをアップロードしてください。

中古品購入の場合

もしHondata Fuel Systemを譲渡する場合、新オーナーは下記のいずれも必要になります。以下の事を確認してください

- ・以前のオーナーからFlashPro本体を購入する
 - ・アンロックコードを購入する。
- 全ての部品をノーマルに戻すと、通常通り作動します。

Specifications

In tank pump	In tank flow l/h @ 4.8 bar (70 psi)	Current (amps)
Stock	150	8.0
Hondata	205	13.2

High pressure Pump	mm ³ per cyl	Working Pressure (bar)	Max Pressure (bar)	Max pump/ engine RPM
Stock	254	200	225	3600/7200
Hondata	314	200	225	3800/7600

Injector	Flow gain
Hondata	20% over stock

免責事項

仕様は予告なく変更される場合があります。 Hondata製品は特定の用途向けに設計されており、いかなる目的にも使用しないでください（自動車、航空宇宙、医療、救命用途、または直接のような欠陥の防止に特に高い信頼性を必要とするその他の用途を含むが、これらに限定されません）。該当するホンダ製品ドキュメントに明示的に記載されていない第三者の生命、身体、または財産に損害を与える）。製品仕様に記載されている特性を持つ特定の製品が特定のアプリケーションでの使用に適していることを検証するのは、お客様の責任です。 Hondataによって付与された保証は、該当するHondata製品ドキュメントに明示的に規定されていない目的で使用された製品については無効と見なされます。 Hondataは、燃料システムコンポーネントの不適切な取り付けまたは汚染によるクレームまたは損傷については責任を負わないものとします。 Hondataは、Hondataの該当する製品ドキュメントに記載されているように、Hondataによって明示的に意図されていないアプリケーションで使用された製品に起因するクレームまたは損害について責任を負わないものとします。 Hondata製品の販売および使用には、Hondataの販売条件が適用されます。

保証

購入証明付きの1年交換。交換のみ。

